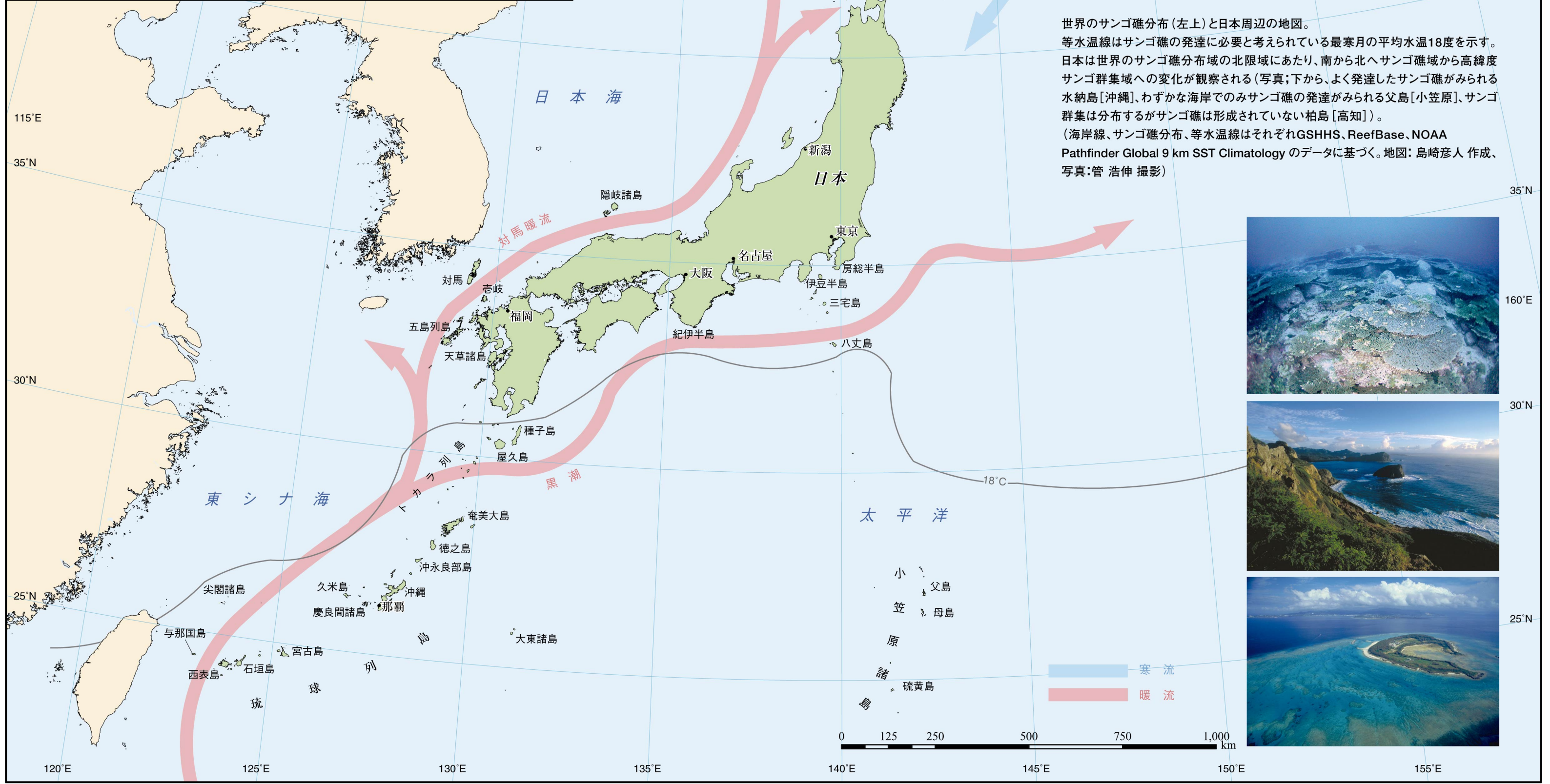
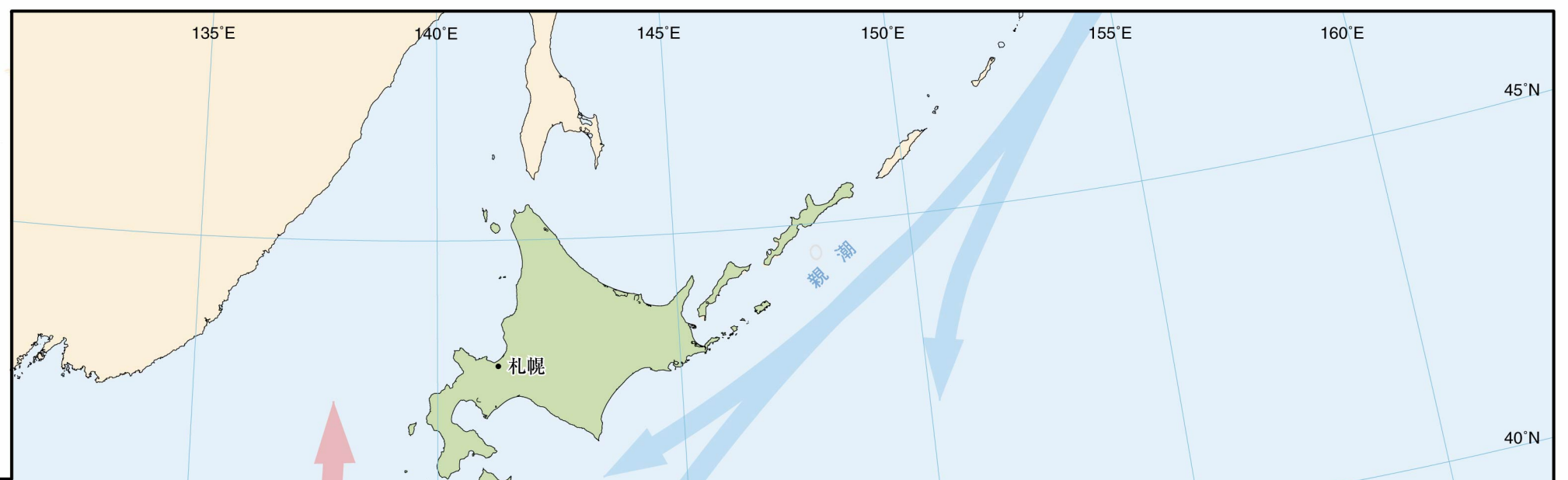
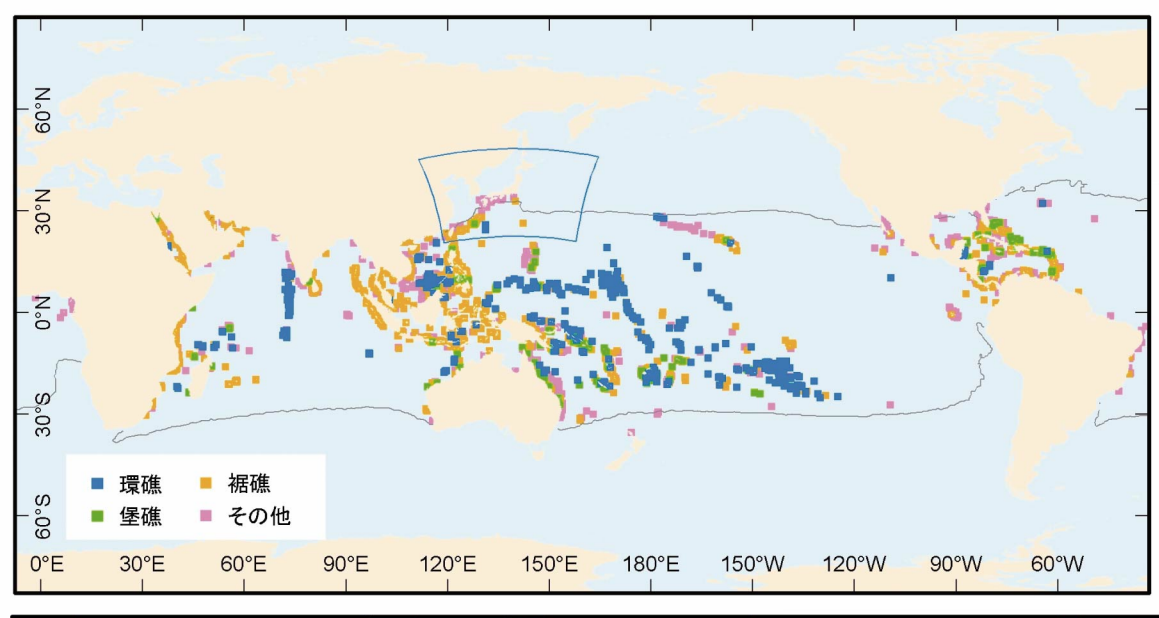




世界のサンゴ礁分布 (左上) と日本周辺の地図。
等水温線はサンゴ礁の発達に必要と考えられている最寒月の平均水温18度を示す。
日本は世界のサンゴ礁分布域の北限域にあたり、南から北へサンゴ礁域から高緯度サンゴ群集域への変化が観察される (写真; 下から、よく発達したサンゴ礁がみられる水納島 [沖縄]、わずかな海岸でのみサンゴ礁の発達がみられる父島 [小笠原]、サンゴ群集は分布するがサンゴ礁は形成されていない柏島 [高知])。
(海岸線、サンゴ礁分布、等水温線はそれぞれGSHHS、ReefBase、NOAA Pathfinder Global 9 km SST Climatology のデータに基づく。地図: 島崎彦人 作成、写真: 管 浩伸 撮影)

